

研修員's VOICE

Vol. 1

世界各国からJICA沖縄にやって来た
研修員を紹介しています。



氏名: Mr. JAKUPI Genc (ギャンツさん)

国名: コソボ共和国

コース: 行政サービス改善のための
ICT利活用(D): 情報セキュリティ

滞在期間: 2017.3.15 ~ 2017.7.28

コソボってどんな国ですか？

四方を山に囲まれ、アルバニア、モンテネグロ、セルビア、マケドニアと国境を接する内陸国です。人口180万人の9割がアルバニア人で、セルビア人、ローマ人、トルコ人もいますが、イスラム教徒、キリスト教徒、正教徒が仲良く暮らす国として知られています。日本同様に四季があり過ごしやすい気候ですが、コソボには驚くことに地震、台風、洪水、地滑り等の災害はありません。



コソボ南部の歴史都市プリズレン

JICAではどういう研修をしていますか？



研修でプレゼンテーションを行うギャンツさん

情報セキュリティについて学んでいます。日本のICT技術は大変進んでおり、日本の経験を学ぶ良い機会となっています。帰国後は、現在作成中の政府ネットワークに関するアクションプランを実施し電子データのセキュリティを高めたいです。また、組織が実施する他のプロジェクトにも日本で学んだことを活かしていきたいです。

日本で印象に残っていることは？

特に沖縄の皆さんのホスピタリティが印象深いです。礼儀正しく、常に困っている人を助け、私たちの滞在を快適で楽しいものにしてくれます。沖縄の歴史にも大変感銘を受けました。戦争で多くを失いましたが、沖縄の方々の深い人間性で、これからも平和な世界を築いていくことと思います。今後、研修旅行で大阪や東京を訪問することも楽しみです。



研修コースの同僚と首里城にて